



当社の保有する海砂の荷下ろし場

- 本社所在地：熊本県玉名市
- 事業概要：建設資材販売・海苔加工販売
- 常時使用する従業員：46名  
(2025年4月時点)
- 現在の売上高：43億円  
(2025年4月期)
- 法人番号：9330001011500
- Web：https://marukogroup.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役会長  
山田 浩之

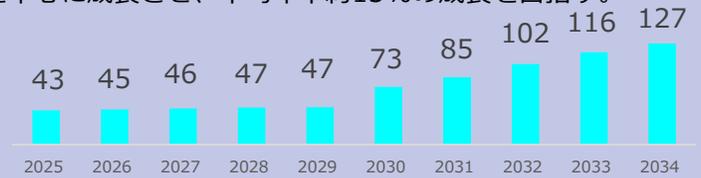
### 『海』と『山』のシナジーを、持続可能な社会の礎に

我々のミッションは、創業以来変わらず「人と社会と自然をつなぐ」ことです。これまで熊本の社会インフラを支えるため、高品質な「海砂」と「山砂」の安定した供給基盤を築いてきました。我々の成長は常に社会課題の解決とともにあります。新製品「改良土」の開発は、廃棄物であった泥土を価値ある資源に変え、山砂の枯渇という社会的課題に応えることで、持続可能な社会基盤整備事業を確立する、まさに「社会と自然をつなぐ」理念の体現です。また、有明海の海苔養殖発祥の地として、地域の個人事業者を支える「プラットフォーム」となることも、我々の重要な使命と考えています。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2032年の売上高100億円実現に向け、海砂・山砂・海苔加工などを中心に成長させ、平均年率約13%の成長を目指す。



### 課題

課題は、山砂事業と海苔事業の双方で、旺盛な需要に対し生産能力が限界に達している点。山砂は旧式のプラント体制で非効率であり、海苔はフル稼働状態。このボトルネックの解消が急務。大幅な生産性向上により、働く社員の精神的・経済的・社会的幸福の追求と実現のための働き方改革と賃金の上昇。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

100億円達成の核は、熊本から九州北部地域への砂事業の拡大。山砂事業における生産性向上のための設備投資及び旧プラントの改良などで「海と山」両方を提案できる唯一無二の強みを活かし、県外市場を開拓。山砂の枯渇という社会的課題解決のための「改良土」開発。事業間のシナジー効果を実現するためのM&A。地域の3Rの推進とプラスチックの再資源化に向けた地域M&Aの推進。

### 実施体制

経営トップ（会長・社長）が統括し、現場の意見をしっかりと受け止めながら、最終意思決定を行う体制。また、人材の採用により、営業部門の強化。経営管理部の創設により、全体のマネジメント体制の強化。国土交通省や熊本県、地域の市町村と連携し、さらに金融機関とも連携を維持・強化。新製品「改良土」の開発は熊本県建設技術センター、そして実務面ではグループ各社とも緊密に連携。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです